

突発性難聴

② 原因

原因不明だが、循環障害、ウイルス感染ないし再活性化が想定されている。

(蝸牛の内リンパ液の有毛細胞が倒れているのが電子顕微鏡で認められる。)

③ 治療

(科学的根拠に欠けるものの推奨される。早期に治療を開始すると予後が良い。)

① ステロイド全身投与

① PSL30mg/日 経口

5mg朝4錠、昼2錠7～10日をかけて漸減。

② ソル・コーテフ（ヒドロコルチゾン）点滴

500mg1V1日1回、漸減

② ステロイド鼓室内注射

デカドロン1ml3.3mg鼓室内注射

数回施行。静注や内服で聴力改善の乏しい症状に投与する。

全身投与と比し移行濃度は100倍となる。

③ 高気圧酸素療法

④ プロスタグランジンE1

パルクス注 1回60mg

1日1回点滴静注 7日間